

姉妹校締結証（協定書）調印式スピーチ



本日、景文高級中學と釧路北陽高等学校が姉妹校として新たな関係をつづけることができました。このような素晴らしい日を迎えられたことを、心からうれしく思います。また、この実現のために協力してくださった両校の先生方、関係者の皆様に、深く感謝申し上げます。

私たちの学校、釧路北陽高校は、北海道の東に位置する、釧路市にあります。釧路市は、自然がとても豊かで、夏でも最高気温が20度ほどと、とても涼しい町です。約600人の生徒が、勉強やスポーツ、文化活動などに一生懸命取り組んでいます。北陽の生徒たちは、元気で、優しく、思いやりのある若者たちです。

私は、北陽の生徒たちが、将来、より良い、そしてより平和な世界をつくることに貢献できる人に成長してほしいと願っています。そのためには、人が持つ「違い」を「違い」として理解し、異なる考えを持つ人にも、それぞれの正しさがあると認め、共感する心をもって学び続けてほしいと願っています。

今回の姉妹校協定には、・姉妹校への教育旅行を、これまでどおり行うこと
・希望する生徒が姉妹校に短期留学をすること
・オンラインで両校をつなぎ、授業で意見交換を行うこと
などが入っており、このことは、私が北陽高校の生徒たちに願う、多様性の理解に大きく役立つものと確信しています。

本日の調印式は、単なる書類の手続きではありません。これをきっかけに、両校の生徒が学び合い、理解し合い、そして温かい友情を育む出発点となることを願っています。

景文高級中學の皆さん、これからも、どうぞよろしくお祈いします。共に学び、成長し、すばらしい思い出をたくさんつくっていきましょう。

本日は、本当にありがとうございました。